

ご来寺
いただいた方には
マスクの着用、
3密の防止に
ご協力いただいて
います。



【8月9日定例法座 上野隆平師】

しんらん同人

No.558

9・10
月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-3950-7828 【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

われもひかりのうちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

平成二十四年七月。誓願寺・岡本英子坊主のご逝去に端を発した諸事情により、思いもかけず僧籍を持ち八年余り！それまでの社会人としての経験を活かして色々やってきたとの思いの一方で、これでよかったのかという反省が頭をよぎります。

その時その時を一生懸命生きてきたつもりですが、振り返ってみますとまさに一瞬であったように思われます。

今の私に出来る事は、「お寺の財政面の改善を推進することだ」と思っていた面もありました。また一方で、なぜこの場所での思いもありました。

この半年、新型コロナウイルスの感染拡大の中で自分の人生を振り返る機会が増え、故円日成道師（福岡市光円寺住職）の「娑婆に生きて」に出会い僧侶としての生き方が少し見えてきたように思われます。

中でも、親鸞聖人がご著書「教行信証」の最

後に引用されていると紹介された二つのお言葉に引き付けられました。

「華嚴經」「人びとは、長い人生のあいだには、ほとけの教えをいただきながらも、喜ぶ時があるかとおもえば、疑ったり反抗したりする時もあるだろう。業縁にふれては挫折することもある。だが、ほとけさまは、決してそのような人々を見捨てることはなさらない。いや、それだからこそお救いになるのだ。」

「安樂集」「先に生まれんものは、後を導き。後に生まれんものは、先をたずねて、途中で途切れてしまうことのないように。ほとけの苦しみ、この世に、ほとけさまのお心がくまなく行き渡るように。」

この言葉は私に安心を与えてくれます。そう言ってもまたいつ不安になるか分かりません。多分不安になるでしょう。しかし、このお言葉があります。決して見捨てはしないというこのお言葉があるのです。

仏教とは

仏教とは、仏の教えであり、仏となる教えであります。

仏のみ心は大慈悲心でありますから、苦しみ悩めるものを救いたもうのであります。

救うということは、迷いの世界を離れて、無上の悟りの世界に生まれしめたもうことであります。

悟りの世界に生まれるということは、限らない命の仏となるということであります。

仏の大慈悲心は、仏の願心によってあらわされております。

仏は「苦悩の衆生を救わずば仏とならじ」と誓いたもうて、永い永い思惟と修行の結果、その願を成就して阿弥陀仏となりたまひ、南無阿弥陀仏のみ名を仕上げられたのであります。

この南無阿弥陀仏のみ名のいわれを信じて、み名を称える者は、必ず浄土に生まれて、仏となるのであります。

南無阿弥陀仏のみ名こそ、我らの救われる証拠なのであります。

「苦悩の衆生を救わずば仏とならじ」との誓いは、衆生を必ず浄土（涅槃の世界・真実の世界）に生まれしめたいというのであ

りますから、この願いを信じて念仏申す者は、必ず浄土に生まれさせて頂くのであります。

真実の世界に生き抜かせていただく教えでありますから、浄土真宗と名付けられるのであります。

親鸞聖人は、浄土真宗に帰せられたお方であります。

浄土真宗は、弥陀の本願であります。釈尊はこの弥陀の本願を大無量寿経に、明らかに告示し下さったのであります。

龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・源空・その他多くの高僧方は、弥陀の本願を信じて念仏せられたのであります。

されば親鸞聖人は「親鸞におきては、ただ念仏して弥陀に助けられまいらすべきと、よき人の仰せを蒙りて信ずる外に別の子細なきなり」と仰せられております。

弥陀の本願を信じて念仏もうす者は、そのまま摂取の光に包まれる身となるのであります。

光明に包まれ、お慈悲のみ手に抱かれているのですから、正定聚不退といわれるのであります。

つまり必ず浄土に生まれる身と定まるのであります。

仏の慈懷に抱かれる身でありますから、臨終の善し悪しを案ずることはないであります。

仏に抱かれたまま、限らない命の世界、すなわち、お浄土に生まれさせて頂くにであります。

これを平生業成と言っております。

迷いの世界を離れて浄土に往生することは、我ら凡夫の計らうべきことではなく、全く如来の本願力によるのであります。

永い永い迷いを離れて浄土に生まれる身となさしめて下さった、如来のご恩は、報じても報じつくされません。

仏の光にあつて、罪深き迷える自己であつたことがしらされま

す。
我ながらどうしようもないこの身が、如来のお力・本願力によつて救われてゆくのであります。

この広大なご恩を思つて、念仏申しつつ、命の限り一生懸命に働かせていただくのであります。

今の今がお慈悲の中であります。

いささかでもご恩を報ずる勤めをさせて頂かねばなりません。どんなにづらい仕事でも、如来のご恩を思えば、苦にならず喜んでさせて頂くのであります。

この浄土真宗のみのり、お念仏に遇うことは、難中の難といわれます。難中の難とお聞かせただけだとほかに、よくぞ聞く身にさせていだいたと喜ばずにはおれません。

もしそれ知識の教えなくば、永遠の闇路に迷いぬらん。全くその通りであります。親鸞聖人のご恩の広大なることは、言葉につくし得ないことであります。

誓願寺副住職
古賀明德



覚えている ということ

昨日の晩ご飯は何を食べましたか？では、1週間前の昼ご飯は？1カ月前の朝ご飯は？私は1日前でやっとな、3日前はなかなか思い出せません。

人間は毎日多くの事、新しい事を経験しながら生きています。学校を卒業し、就職し、老後を送り、死んでいく。「こんな人生でした。」と説明できるかもしれません。でも、細かくなつてくると記憶がどんどん薄くなつていってしまいます。

初恋の子の名前は思い出せるかもしれません。でも、その子がどんな子だったか、詳しく覚えていますか？

初めて入った会社の名前は思い出せるかもしれません。でも、初めての会社での失敗はどんなことでしたか？

結婚式を挙げた場所は覚えているかもしれません。でも、その日がどんな天気だったかはつきり覚えていますか？

どんなに大切なことであつたとしても、人間はその性質上どんどん忘れていってしまうのです。それが当然なのです。

ある時、私はこんな風に考えました。ものすごく自分にとって大切な人、親や兄弟や親友や恋人。その人たちが自分よりも先にいのちを終えた時、ものすごく悲しく思つても、日々の生活の中でだんだんとその人の笑顔や温もり、優しさ、もつと時間がたてば、その人との大切な思い出、声、姿までどんどん忘れていってしまう。本当に怖いことだなと。

実際、私は人生において祖父や祖母、叔父や叔母、大好きだった親友たちを亡くしています。当時はものすごく悲しかったのを覚えていますが。でも、だんだんとだんだんとその大切な人たちを思い出すことが減っていつているのに気付きました。どんどん忘れていく自分、人間と言う存在を怖く感じました。

しかし、私は仏教と出遇い、浄土真宗のみ教えと出遇い、考え方を変えられました。

大好きだった人たちは今、阿弥陀様のはたらきによってお浄土で仏様と成ってくださっている。その方たちは決して、私のことを忘れることはなく、ずっとずっと私の傍にいて下さり、様々な形で阿弥陀様と私をつなぐ、おはたらきのお手伝いをして下さっている。

そして、ふと昔のことを思い出した時、その方たちは自分のいのちをもって、この私もいつか同じように阿弥陀様に救われてお浄土に生まれていくことのできる喜びを伝えてくださったのだなと思わせていただけになりました。

「私が」覚えているということが大事なのではなく、「覚えていて下さる仏さまが」傍にいることに感謝させていただくのが大切なのだなと気付かせていただけました。

日々、忙しい中でたくさんのお仕事を忘れていく私ですが、阿弥陀様と出遇えた喜びを事あるごとに思い出し、ただ南無阿弥陀仏のお念仏を喜んで生きていける、そんな日暮らしをさせていただきたいと思います。

合掌

2/2

【ご法座のご案内】

9月

10月

9・13 (日)

■午前10時

定例法座 婦人会追悼法要

【平田聖子師

■正午

医療相談【佐藤公彦医師

9・20 (日)

■午前10時

なかよしクラブ（乳幼児から小学生まで）

9・27 (日)

■午後一時

彼岸会法座 祥月命日合同法要

【喜多唯信師

10・11 (日)

■午前10時

定例法座

■正午

医療相談【佐藤公彦医師

10・18 (日)

■午前10時

なかよしクラブ（乳幼児から小学生まで）

10・25 (日)

■午後一時

報恩講特別法座

祥月命日合同法要

編集後記

・ご来寺やお参りの際は、マスクを着用したままで構いません。体調のすぐれない方は、ご無理をされないようにお願いいたします。

・坊守のひびの痛みは、左足から右足の方に移たようです。病院も数箇所通っていますが、ハッキリした原因が分かりません。頭を悩ませている状況です。